

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会
	課名	ゆうき図書館
	係名	企画管理係・サービス係
	記入者	電話(内線) 34-0150

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	ゆうき図書館運営管理事業				(3) 事業の 優先度	A	
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体		市			
① 事業の区分	主要事業					(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)		
② 施策コード	42202		(総合計画掲載ページ 107 ページ)				会計区分	一般会計		
基本目標(政策)	4		未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)				財源区分	市単独		
基本施策	2		生涯を通じてともに学べる環境づくり(生涯学習・地域教育・青少年の健全育成)				予算科目	款 10	項 5	目 5
施策			地域教育体制の充実				予算書上の	ゆうき図書館運営管理経費		
施策内容			図書館サービス網の充実				事業名称	(予算書 176 ページに掲載)		
(5) 事業期間	開始		16	年	5		月から	(8) 事務分類		
	終了			年		月まで (力年)	根拠法令	図書館法		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)
結城市民及び図書館利用者	市民の教養・知識が向上し、文化的な潤いのある生活ができるようになる。
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
・図書資料・視聴覚資料・逐次刊行物の収集・整備 ・資料提供(資料の閲覧提供・資料の貸し出し) ・情報提供(ホームページによる利用案内、検索サービス等) ・地域支援(子育て支援、ビジネス支援等の情報収集・提供) ・生涯学習支援及び推進(職業体験学習、図書館見学会、ボランティア支援) ・読書活動推進(たのしい図書館ツアー、子ども司書養成講座等) ・レファレンスサービス ・利用者支援(対面朗読室の利活用推進等) ・ブックスタート事業(5ヶ月児健診時に、ボランティアが絵本の読み聞かせを行い、絵本とコットンバッグをプレゼントする。)	市民の要望や図書館法並びに結城市図書館基本計画書により設置された。
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
図書館に指定管理者制度を導入する自治体もあり、本市の図書館の今後の管理運営方法について検討を行う。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映			
実施計画									
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）			
事業内容		26 年度		27 年度		28 年度		29 年度	30 年度
（１）事務事業費	事業費	報酬	12,598	12,778					
	賃金	7,594	9,342						
	需用費	613	1,958						
	役務費	1,366	1,396						
	委託料	8,856	9,396						
	使用料及び賃借料	20,606	15,344						
	その他	344	1,086						
	合計	51,977	51,300						
	財源	国庫支出金（千円）							
県支出金（千円）									
地方債（千円）									
その他特定財源（千円）									
一般財源（千円）		51,977	51,300						
合計（千円）		51,977	51,300						
補助・起債制度名									

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称				単位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	イベント棚の展示	目標値	回		12	12	12	12	
		実績(見込)値		12	12				
		目標値							
		実績(見込)値							
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	貸出者数	目標値	人		70,000	70,500	71,000	71,500	
		実績(見込)値		64,748	68,000				
		達成率		90.6 %	95.1 %				
	利用登録者数	目標値		32,000	33,500	35,000	36,500		
		実績(見込)値	29,987	31,500					
		達成率	82.2 %	86.3 %					
5. 事業評価									
(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。									
読書活動推進のための「子ども司書養成講座」「たのしい図書館ツアー」の開催、「Smile＋Bookプロジェクト」として利用者とお気に入りの本の写真の館内掲示、を行い、図書館のPRに努めた。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価				理由					
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	図書館は地域の教育的・文化的基盤であり、必要である。					
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	市民の生活、精神的自由に深く係わっており、市が直接運営すべきである。					
	手段の妥当性	A	妥当である	現在の手段が一般的である。					
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	職員に代わり、多くの嘱託・臨時職員を雇用しており、人件費の改善の余地はない。					
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	利用者に制限を設けておらず、偏りは見られない。					
有効性	成果の向上	C	成果の向上は見られない	昨年度と比較して、全体的に減少傾向となっている。					
進捗度	事業の進捗	A	順調である	地域の教育的・文化的基盤として機能している。					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。									
図書館が開館して10年が経過し、図書館利用者もある程度固定化している傾向がみられる。									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？									
新規登録者(利用者)を増加させた上で、その人達を含めたすべての利用者に対し、継続的に利用してもらえるような事業展開を行う必要がある。									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		27年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)			注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)			公共図書館は、利用者の求める資料や情報を提供することをサービスの基本としており、図書館の利用促進を図るために、利用者ニーズの把握や充実した蔵書構成に努めるとともに、新規イベント等の企画や図書館のPRに取り組むこと。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。				